



Daiwa House[®]
Group

2018年2月13日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 芳井敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

**「サステナビリティレポート2017」が
「環境コミュニケーション大賞」において2年連続「環境大臣賞」を受賞**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）が発行した ESG^{※1}に関する網羅的な情報を掲載した年次報告書「サステナビリティレポート2017」は、「第21回環境コミュニケーション大賞」^{※2}において、最も優れた環境報告書として環境報告大賞「環境大臣賞」を受賞しました。



【サステナビリティレポート2017】

今回の受賞により、当社は4年連続6度目の「環境コミュニケーション大賞」受賞で、環境大臣賞は2年連続3度目となります。

※1.環境：Environment、社会：Social、ガバナンス：Governance の略語のこと。

※2.環境省と一般財団法人 地球・人間環境フォーラムが主催。

●**審査講評の主な内容**

創業100周年となる2055年を目標に「環境負荷“ゼロ”」を目指す環境長期ビジョンの実現に向け、2025～30年の中間目標を策定すると共に、3年ごとに到達レベルを設定し直すという計画になっている。各課題において、ステークホルダー別に目標、実績、評価等が報告されており、非常に読み易い報告書となっている。

並行して再生可能エネルギーによる発電事業や、エネルギー“ゼロ”を目指す住宅・建築・街づくりなど、脱炭素社会へ向けての取り組みも紹介されている点が高く評価される。

サステナビリティに関する豊富な取組と情報量の両面で優れた報告書である。

●**「サステナビリティレポート2017」について**

当社グループでは、「中期 CSR 計画（2016～2018年度）」を策定し、サステナブルな企業経営の推進に努めています。そのような中、2017年6月、ステークホルダー（お客さま、従業員、取引先、地域市民、株主）とのさらなる良好な関係構築に向け、「CSRレポート」と「環境報告書」を1つにまとめた報告書「サステナビリティレポート2017」を発行しました。

本レポートは、主な読者（投資家や企業評価機関、有識者等）や社会からの情報開示要請を踏まえ、バリューチェーン上の主たる取り組みと「SDGs」^{※3}への貢献を示しました。また、創業100周年を見据えた環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」に基づき、グループ・グローバル一体での環境経営を推進し、環境負荷ゼロを目指した取り組みについて詳しく掲載しています。

※3. 2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標のこと。

●サステナビリティレポート2017

http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/esg/csr_report/

●環境コミュニケーション大賞

優れた環境報告書（CSR レポートを含む）や環境活動レポートを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。1997 年から実施され、今年で 21 回目となります。


今回は、環境報告書部門に 209 点、環境活動レポート部門に 130 点の合計 339 点の応募がありました。



●「環境コミュニケーション大賞」受賞歴

第 11 回	大和ハウスグループ CSR レポート 2007	環境報告書部門 「持続可能性報告優秀賞」
第 12 回	xevo 「エコバッグ篇」	テレビ環境CM部門 「優秀賞」
第 18 回	大和ハウスグループ環境報告書 2014	環境報告書部門 地球温暖化対策報告大賞 「環境大臣賞」
第 19 回	大和ハウスグループ環境報告書 2015	環境報告書部門 「環境報告優秀賞」
第 20 回	大和ハウスグループ環境報告書 2016	環境報告書部門 環境コミュニケーション大賞制定 20 回記念大賞「環境大臣賞」

【 未来を、つなごう We Build ECO 】

	<p>私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。</p>
---	--

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	0 6 (6 3 4 2) 1 3 8 1
	東京広報グループ	0 3 (5 2 1 4) 2 1 1 2